

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 5月 1日

事業所名 みずふね体操クラブ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	当法人が所有している体操教室の体育館も利用している。	規程に基づき行っている。
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%	職員対児童2名を配置している	規程に基づき行っている。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	100%	0%	室内から室内の移動にも段差が無いよう整備されている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%		現在、専用アプリを利用しての支援案や改善策を確認・評価できる様に準備しております。
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		保護者からの意見に沿えるような支援ができる様に今後も保護者と連絡をとりながら進めていきたいと思っております。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	ホームページに記載されております。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	67%	33%	他の事業所責任者の方よりアドバイス・業務チェックをさせて頂いています。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	無資格の方には行動援護従業者養成研修に積極的に参加してもらっております。	動画視聴も取り入れ充実を図る
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	具体的な支援案を提示し合い計画に組み込んでいる。	職員が利用者さんに関して気づいた事や支援したい事柄、保護者さんからの要望などその都度共有し、より良い支援計画を作成します。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	標準のアセスメントツールを使用。保護者さんより提出頂いた検査結果の支援意見を使用	現在、専用アプリを利用してアセスメントの確認・評価できる様に準備しております。
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	職員間の会議で立案している。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	利用者さんの人数や様子などでも臨機応変に変更を行っている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	長期休暇時などでは、施設外で出かける支援を取り入れている。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	各個人の下校時刻にも対応できるように工夫している。	集団の活動に積極的に取り組んでもらえる工夫を取り入れて行きたい思います。
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	責任者より指示を出している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	LINEを用いてその日の気づきを報告できるようになっている。	さらに細かい所まで確認できる様にする。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	83%	17%	療育以外の気になる点なども別紙を利用して記入・記録しております。	現在、専用アプリを利用して確認・評価できる様に準備しております。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		現在、専用アプリを利用して確認・評価できる様に準備しております。
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	100%	0%	運動療育を中心として行っています。	今後さらに細かい所までできる様に行いたい。	

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	自発管もしくは利用者さんの状況をよく理解している者が帯同している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	不明点はその都度電話にて学校へ連絡し確認しております。	下校時刻のやり取りが保護者もしくは学校だけでは不十分な時がある為双方の情報を確認して重大事故を防ぐ対策を整えます。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	17%	83%		現在該当する利用者さんはおられません。必要な場合には連絡体制を整えます。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	50%	50%		十分では無いため充実させたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	33%	67%		現在該当する利用者さんはおられません。必要な場合には対応致します。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%	可能な限り外部研修に参加している。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		実施する事を目標とする。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	67%	33%		実施する事を目標とする。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	LINEや連絡帳・送迎時の連絡など可能な限り行っている。	現在、専用アプリを利用して連絡や内容の充実ができる様に準備しております。
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		実施する事を目標とする。	
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時には、必ず責任者が対応し説明を行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	子育てや療育経験豊富な職員さんが対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		実施する事を目標とする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	責任者が対応しております。苦情があった場合にも記録しております。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	33%	67%		十分では無いため充実させたい。
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	取り扱いを最低限にし、注意喚起を行っている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	LINEにて見返せるよう配慮しております。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		実施する事を目標とする。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	定期的に研修を行っております。	保護者さんへの発信が不足している為、情報を発信していくようにします。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に研修・訓練を行っております。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	定期的に研修を行っております。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	契約時・面談時を利用して説明を行っている。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	17%	83%	契約時には、必ず責任者が確認しております。	今後受入れる利用者さんで必要であれば、準備対応致します。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事例があった場合は、職員間で確認しております。	